

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

10743

スポーツ推進委員との連携事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	4	スポーツの振興
取組方針	1	生涯スポーツの振興

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	スポーツ振興費		
	大事業	スポーツ振興事業		
	中事業	スポーツ推進委員との連携事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市スポーツ振興計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	スポーツ振興課	山本 敬 435-1364
事業実施の根拠法令			関連課			

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	市事業への協力及び各地区でスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員と連携を深め、スポーツ人口の増加を図る。		和歌山市の事業への協力及び各地区でのスポーツの振興を進めているスポーツ推進委員との連携強化に努めるとともに、スポーツ人口の増加、振興を図る。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	新春つれもて歩こう走ろう会の開催。ふれあいスポーツ教室の開催。	スポーツ推進委員に対する非常勤報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する非常勤報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	スポーツ推進委員に対する推進委員報酬の支出及び、スポーツ推進委員連盟に対し、交付金を支出する。	

2 事業コスト

事業費等(千円)	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	1,407	1,406	1,407	1,407	1,404	1,376	1,412	0	1,412	0
伸び率(%)	0%	△0.1%	0%	0.1%	△0.2%	△2.2%	0.6%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	3,909	3,829	2,718	2,718	2,819	2,819	4,027	0	4,027
	正規職員以外	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	3,909	3,829	2,718	2,718	2,819	2,819	4,027	0	4,027
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般財源(税等)	1,407	1,406	1,407	1,407	1,404	1,376	1,412	0	1,412	0
所要人数(人)	正規職員	0.49	0.48	0.34	0.34	0.35	0.35	0.50	0.00	0.50
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
主な予算内訳	非常勤報酬 800千円、 消耗品費 432千円、 ふれあい健康スポーツ事業交付金 172千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
各種イベント参加者数		人	目標値	2500	2500	2500	2500	2500
			実績値	2327	2554	2480		
			達成度(%)	93.08%	102.16%	99.2%	%	%
スポーツ推進委員委嘱者数		人	目標値	80	80	80	80	80
			実績値	80	80	80		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成人の週1回以上の運動習慣率		%	目標値	55	51.7	54.0	56.3	58.6
			実績値	48.1	48.4	50.3		
			達成度(%)	87.45%	92.32%	93.15%	%	%
成果指標			目標値					
			実績値					
			達成度(%)					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か		市が行うべき	○	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む		中長期的に取り組む	○ 緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	スポーツ推進委員は、市の事業への協力や、各地区でのスポーツの振興、推進を進めており、連携強化を更に図り、市民のスポーツに接する機会を与えることで、スポーツ人口の増加や、スポーツを通して親睦や交流を図る。
見直し・改善内容	今後も、市民の健康維持増進や体力の向上に努める。